

大阪フィルハーモニー交響楽団

Osaka Philharmonic Orchestra

第500回定期演奏会

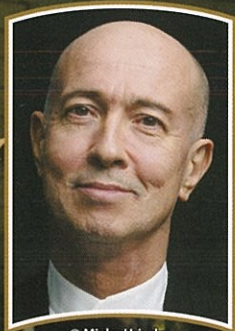
バカロフ
ミサ・タンゴ

Luis Bacalov / Misa Tango

ベートーヴェン

交響曲 第3番 変ホ長調「英雄」 作品55

Ludwig van Beethoven / Symphony No.3 in E-flat major "Eroica" op.55



© Mieko Urisaka

指揮

井上 道義

Michiyoshi Inoue / Conductor



独唱 [メゾ・ソプラノ]

サンドラ・フェランデス

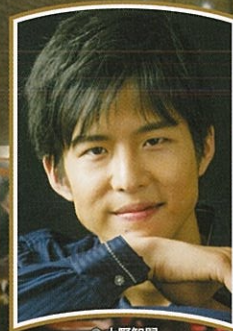
Sandra Ferrández / Mezzo-soprano



独唱 [バリトン]

ガスパール・コロン

Gaspar Colon / Baritone



© 大野智嗣

独奏 [バンドネオン]

三浦一馬

Kazuma Miura / Bandoneon

合唱

大阪フィルハーモニー合唱団(合唱指揮:福島章恭)

Osaka Philharmonic Chorus (Akiyasu Fukushima / Chorus Master)

© 飯島 隆

2016年7月21日(木) 19:00開演(18:00開場)・22日(金) 19:00開演(18:00開場)

フェスティバルホール

料金(全席指定・税込):A席 ¥6,000 B席 ¥5,000 C席 ¥4,000 *学生席(3階席)¥1,000 BOX席 ¥7,000円

*25歳以下の学生の方を対象に、3階席を学生席として販売しております。詳しくは裏面をご覧ください。

お問い合わせ:大阪フィル・チケットセンター Tel.06-6656-4890 <http://www.osaka-phil.com/>

営業時間 平日 10:00~18:00 / 土曜 10:00~13:00 / 日・祝・年末年始は休業

チケット取扱い:大阪フィル・チケットセンター Tel.06-6656-4890 <http://www.osaka-phil.com/>

フェスティバルホール チケットセンター Tel.06-6231-2221 <http://www.festivalhall.jp> (要事前登録)

チケットぴあ Tel.0570-02-9999《Pコード:283-235》 <http://t.pia.jp/> e+ (イープラス) <http://eplus.jp/>

タワーレコード梅田大阪マルビル店 Tel.06-6343-4551

発売日:2016年2月2日(火)

Subscription Concert 500

記念すべき第500回定期お送りするのは、井上道義が首席指揮者に就任して以来積極的にレパートリーに加えてきたラテン音楽とオーケストラの基本である古典派作品を組み合わせたプログラム。大阪の老舗オーケストラとしてクラシック音楽の王道を行く作品と、井上が提案する「人懐っこく、話が面白く、人生を肯定しようとする人々の町、大阪」の表現をコンセプトにした集大成のプログラムです。街と人々の日常へ寄り添うオーケストラ「大フィル」の熱い演奏にどうかご期待下さい。

指揮 井上 道義 [Michiyoshi Inoue / Conductor]

1946年東京生まれ。桐朋学園大学卒業。1971年グッド・カンテルリ指揮者コンクールに優勝。ニュージーランド国立交響楽団首席客演指揮者、新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督、京都市交響楽団音楽監督兼常任指揮者を歴任。2007年ショスタコヴィチ交響曲全曲演奏プロジェクト、および2013年サンクトペテルブルク交響楽団日本ツアーを企画立案、音楽・企画の両面で大きな成功を収めた。2010年、「京都市文化功労者」、社団法人企業メセナ協議会「音もてなし賞」を受賞。2007年1月よりオーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督、ならびに石川県立音楽堂アーティスティック・アドバイザーに就任。ラ・フォル・ジュルネ金沢を含む多くの実験的企画を敢行し続けている。2014年4月、大阪フィルハーモニー交響楽団の首席指揮者に就任。就任披露演奏会直後、病に倒れるが同年10月に復帰を遂げる。自宅にアヒルを飼っていた。
公式ホームページ▶<http://www.michiyoshi-inoue.com/>

© Mieko Urisaka

メゾ・ソプラノ サンドラ・フェランデス [Sandra Ferrández / Mezzo-soprano]

スペイン出身。ロドリゴ音楽院を優秀な成績で卒業後、パリとリュベックにおいて、オブラスツォフ、ヤノヴィッツ、リーガーのもとで研鑽を積み、若いスペイン人音楽家のためのコンクールで1等賞を獲得。デビューはオフエンバックの《ホフマン物語》ジュリエッタ役。ラロ《イスの王様》ではカバリエの代役を務めた。以来、オペラはマドリードのテアトロ・レアルやバルセロナのリセウ大劇場などで、ワーグナー《ニーベルングの指環》のワルキューレ役、マスネ《ヴェルテル》のシャルロット、モーツァルト《コシ・ファン・トゥッテ》のドラベッラ、《ドン・ジョヴァンニ》のエルヴィーラ、ビゼー《カルメン》のタイトルロールなどを歌っている。共演した指揮者は、ビシュコフ、マゼール、ロペス・コボス、ザネッティ、A.デヴィスらがいる。ほかにベートーヴェン「第9」のソロや、現代音楽も歌い、多くの初演も任された。スペインの「サルセラ」を継承する重要な存在でもあり、スペイン各地の公演で高い評価を受けている。

バリトン ガスパール・コロン [Gaspar Colon / Bariton]

アメリカのコネチカット生まれ。作曲家として著名なベネズエラ出身の祖父とピアニストの母のもとで音楽の勉強を始め、カラカスの音楽院で学び、フレーニやリッチャレリのマスタークラスも受講。これまでドゥダメル、デ・ブルゴス、マテウスらの指揮のもと世界の代表的なオーケストラと共演し、ミラノ・スカラ座やカーネギーホール、ローマのバルコ・デッラ・ムジカ音楽堂などの舞台に立っている。オペラではヴェルディ《リゴレット》のタイトルロール、《椿姫》のジェルモン、プッチーニ《ラ・ボエーム》のマルチェッロ、《トスカ》のスカルピアなどを歌い、コンサートではベートーヴェン「第9」やフォーレの「レクイエム」、ウォルトン「ベルシャザールの饗宴」などのソリストを務める。
活気あるベネズエラ音楽界でも傑出したバリトンとして活躍しており、クラシック以外でも、自身の文化的ルーツであるベネズエラやラテン・アメリカのレパートリーの紹介にも務めている。

バンドネオン 三浦 一馬 [Kazuma Miura / Bandoneon]

1990年生まれ。10歳より小松亮太のもとでバンドネオンを始める。2006年に別府アルゲリッチ音楽祭にてバンドネオンの世界的権威ネストル・マルコーニと出会い、その後自作CDの売上から渡航費を捻出しアルゼンチンに渡り、現在に至るまで師事。2008年イタリアのカステルフィダルドで開催された第33回国際ピアソラ・コンクールで日本人初・史上最年少で準優勝を果たす。2011年には別府アルゲリッチ音楽祭に出演。マルタ・アルゲリッチ、ユリー・バシュメットら世界的名手と共演するなど大きな話題と絶賛を呼んだ。
2015年、第25回出光音楽賞(2014年度)受賞。オーケストラとの共演も数多く、2007年の井上道義の上り坂コンサートでの協奏曲を皮切りに国内の各オーケストラと共演を重ねる。使用楽器は、恩師マルコーニ氏より譲り受けた銘器、Alfred Arnold。 <http://kazumamiura.com/>

写真提供:ビクターエンタテインメント(株)

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。あらかじめご了承願います。

【学生席について】 ●25歳以下の学生の方を対象に、3階席を学生席として販売しております。 ●ご予約は、一般発売日より大阪フィル公式HPもしくはチケットセンターへお電話にてお申込みください。 ●ご予約順に良い座席をご用意いたします。(座席の指定はできません。) ●公演当日、窓口にて学生証をご提示いただいたうえ、チケットをお渡しいたします。(HPよりご予約いただいた方は、引換券も必ずお持ちください。) ●HPからのご予約は公演4日前まで、お電話でのご予約は公演前日までとなります。残席がある場合は、当日券を販売いたします。 ●尚、ご入場後も係員がお座席にて学生証の提示をお願いする場合がございます。 ●学生証をお忘れになられると、学生席にはお座りいただけません。一般料金となりますので、ご注意ください。

大阪フィル・ホームページ

<http://www.osaka-phil.com/>

大阪フィル・twitter

アカウント: @Osaka_phil

大阪フィル・公式ブログ

osakaphil1947.blog66.fc2.com

フェスティバルホール
へのアクセス

- 京阪中之島線「渡辺橋」駅下車12番出口直結
- 地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅下車1-A出口より徒歩2分、2番出口より徒歩2分
- JR「大阪」駅桜橋口より徒歩11分 ●地下鉄御堂筋線・京阪「淀屋橋」駅下車7番出口より徒歩5分
- JR東西線「北新地」駅下車11-5番出口より徒歩8分

PC・携帯から
アクセス!

